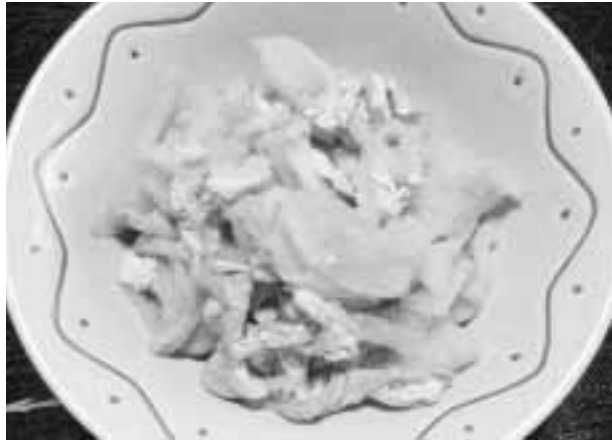


# じっくり心をこめて

## スロー フード

72



### 干しかぶ (大根の干した物)

干しかぶは、冬越しの大根を煮て干したものです。常備の干物として煮物等に入れて食べられています。

## 《今月のご紹介》

関川村食生活改善推進員 の皆さん

### 材料 (4人分)

- ・干しかぶ 30g ・薄揚げ 2枚 ・砂糖 小さじ1
- ・しょう油 小さじ2 ・酒 大さじ1
- ・だし汁 1カップ

### 作り方

乾燥した干しかぶを水洗いしてから、ぬるま湯に5分ほど浸して戻す。水気をよく絞る。(水に長くつけると味が落ちる)

薄揚げは油抜きして、縦半分になり、細切りにする。だし汁、酒、砂糖、しょう油を合わせた中に、干しかぶと薄揚げを入れて、味を含ませながら汁気がなくなるまで煮る。

#### 干しかぶの作り方

冬越しの大根を、薄いちょう切りか半月切りにし、水からゆでる。箸が通る位のやわらかさになったらザルに上げて、天日に干す。べっ甲色になるまでカラカラによく干して、缶や冷蔵庫に保存する。

## せきかわ文芸

2010年「ふれあいの家新春の句」入選作品

村長賞

これからも二人仲良くふれあいへ

八幡 リツ(下関)

敢闘賞

セキレイを今年も見つけたもう春だ

船山 由一(沼)

うた唄いみんなに“アツ”と言わせたい

佐藤 郁子(朴坂)

じいちゃんといついつまでも肩並べ

鈴木 カツ(下関)

大雪だ言ってもうすぐ春らんらん

安久 トモ(上野)

局長賞

もち食べておれのほっぺもかがみもち

渡辺 サト(下関)

寅年の願いを込めて磨みる

横山 キミ(蔵田島)

### 短歌

お互いに元気で会えるは幸せと手を振る

須貝 恵美

姉は母に似てきて

(高田)

思い切り背を丸めて小走りす受け入れ

小池 啓子

がたき寒き廊下を

(下関)

かの頃の教室のごと一斉に音読をする

渡辺千恵子

古文講座に

(上関)

なに食うてどこへ行くのか雪の虫

佐藤 庄七

残雪の上急いで通る

(愛広苑)



農業改良普及員として地域の発展に貢献した大島彦左エ門さんは大正十五年九月十一日関川村上野新に大島鑛四の長男として生れた。昭和十六年女川尋常高等小学校を卒業。高等科在学中、学童相撲新潟県大会に先鋒として出場、準優勝を果たした。

# 近・現代 関川郷の人びと

執筆：佐藤貞治（「せきかわ歴史とみちの館」館長）

## 大島彦左エ門 （上野新在住）

昭和十八年十二月新潟県立新発田農学校卒業。昭和十九年九月、現役志願により千葉習志野戦車隊に入隊。さらに昭和二十年八月教育隊に入隊。終戦により昭和二十年九月復員した。戦後食料危機への対策として昭和二十三年農業改良助長法が制定され、農林省農業改良局の管轄下に農業改良普及制度が生まれた。その仕事をする改良普及員を都道府県の職員として配置。

大島彦左エ門さんは昭和二十五年普及員に採用され関谷地区農業改良普及事務所勤務。昭和三十年荒川と関谷事務所の統合により荒川農業改良普及所となり、引き続き関川村の担当として稲作をはじめ農業技術と農業経営の指導に尽力した。昭和二十五年頃の草創期では緑の自転車に乗りながら「保温折衷苗代」「一、四、D」「改良かまど」などムラからムラへ直接農家に接しながら新しい農業技術の普及や農家生活の改善にあたった。昭和二十六年から三十一年頃までは食料増産運動の最中で、農業技術の進歩はめざましく、次々に開発される新しい品種や農薬、肥料、農機具など新しい技術の普及に日夜休みなく活動が続けた。

また、この時期、各地区に四Hクラブや農事研究会の育成に努めた。特に、朴坂四Hクラブや上関の一步会（農事研究会）は活発に活動した。朴坂四Hクラブは実績研究発表会に出場し、日頃の研究成果を発表した。

昭和三十八年、岩船農業改良普及所に転勤、その後水原（四一〜四四）、新発田（四四〜四七）、岩船（四八〜五五）、水原（五五〜五九）の各普及所に勤務し昭和五十九年に退職した。一貫して地域農業の発展、農村生活の向上、担い手育成などのために常に現場優先の普及活動に徹した。なお荒川普及所在職中、県立村上高校関川分校で農業の非常勤講師を務め、働学青年の指導に尽力した。また、NHKの農事通信員に選ばれ、農村の話題を四年間にわたって提供し、ラジオ番組「昼のいこい」で放送された。

退職後、女川農協の営農指導員をはじめ公民館運営審議会委員（兼社会教育委員）や区長を務め地域の発展に貢献した。平成十一年八月、教育刷新、文化向上の功勞により関川村から自治功勞賞を受賞した。

大島家の系図

先祖

彦左衛門：鑛四 彦左エ門

八代

隆一 毅彦

## せきかわ文芸

寝ねぎわに夢かうつつか咳払いひとつ  
聞きたり亡夫の太声

山口 藤枝  
（辰田新）

### 関川俳句の会作品

大寒や目覚めて先づは屋根を見る

渡辺しづい

絡みつく箸に緑の七日粥

渋谷 くに

寒冷えも朝寝が楽しむ老婆かな

佐藤 ノブ

カニサボテンそのみ春の色のあり

南 セツ

頂上に雲を遊ばせ山眠る

五十嵐貞子

バスを待つ行列続く雪の朝

青木 慶一

### せきかわ川柳会作品「負ける」「継ぐ」

我が財布診察券が大威張り

渡辺しづい

お三時よとクス湯を持ちて孫笑顔

佐藤 ノブ

灰皿がまだ燻ってる負け惜しみ

平田 千恵

農家継ぐ子供離れて過疎となる

本間 イミ

伝統の祭りに見せた過疎の意地

南 セツ